



4 日目-平和

ヨハネ 14 : 25—31 & マタイ 6 : 25—34

執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。
ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- 律法に従うとき、平安を与えてくださる神を賛美しましょう。
「あなたの律法を愛する人には豊かな平和があり／つまずかせるものではありません」
(詩篇 119 : 165)
- わたしたちに平安を与えるために苦しまれた神を賛美しましょう。
「彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた」(イザヤ 53 : 5)
「キリストも、罪のためにただ一度苦しまれました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです」(I ペトロ 3 : 18)
- 人知を超えた神の平和が与えられるよう、祈りましょう。
「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう」(フィリピ 4 : 6—7)
「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな」(ヨハネ 14 : 27)
- わたしたちが神の平安のうちに留まることを、神が教えてくださるよう、祈りましょう。
「堅固な思いを、あなたは平和に守られる／あなたに信頼するゆえに、平和に」(イザヤ 26 : 3)
「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とでああなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように」(ローマ 15 : 13)

- 神や他者との平和をいかに求めていくのかを、祈りのうちに神に教えていただきましょう。

「すべての人との平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません」(ヘブライ 12 : 14)

「義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです」(ヤコブ 3 : 18)

「平和を実現する人々は、幸いである、／その人たちは神の子と呼ばれる」(マタイ 5 : 9)
- 自分に代わって神に戦っていただくこと、どのような難しい状況にあっても、神に平安を与えていただくことを、祈りのうちに教えていただきましょう。

「主があなたたちのために戦われる。あなたたちは静かにしていなさい」
(出エジプト記 14 : 14)

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである」
(マタイ 11 : 28—30)
- 神の平和を心に求め、必要としている人のことを知っていますか。彼らのために祈りましょう。

「山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず／わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはない／あなたを憐れむ主は言われる」(イザヤ 54 : 10)

「しかし、見よ、わたしはこの都に、いやしと治癒と回復とをもたらし、彼らをいやしてまことの平和を豊かに示す」(エレミヤ 33 : 6)
- 試練の中にある人のことを知っていますか。彼らに神からの平和が与えられるよう祈りましょう。

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」
(ヨハネ 16 : 33)

「わたしが自ら同行し、あなたに安息を与えよう」(出エジプト記 33 : 14)
- キリストのために苦しんでいる人のため、その心に神の平安が与えられるよう祈りましょう。もし、そのような人を個人的に知っているのなら、名前を挙げて祈りましょう。

「正義が造り出すものは平和であり／正義が生み出すものは／とこしえに安らかな信頼である」
(イザヤ 32 : 17)

「このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています」(ローマ 5 : 1—2)
- 神や他者との和解を必要としている人を知っていますか？ 彼らのために祈りましょう。

「平和の源である神は間もなく、サタンをあなたがたの足の下で打ち砕かれるでしょう。わた

私たちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように」(ローマ 16 : 20)
「互いに平和に過ごさない」(I テサロニケ 5 : 13b)

- 青年たちが、日毎に強まる世的な影響から守られるよう祈りましょう。彼らが、神の言葉と他者への奉仕に心を向けることができるよう祈りましょう。神の守りを必要としている青年のために、名前を挙げて祈りましょう。

「あなたは、年が若いということで、だれからも軽んじられてはなりません。むしろ、言葉、行動、愛、信仰、純潔の点で、信じる人々の模範となちなさい」(I テモテ 4 : 12)

- 都市伝道のために

中央アメリカ支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

メキシコ・シティ (メキシコ)、カラカス (ベネズエラ)、ボゴタ (コロンビア)、ナッソー (バハマ)、ベリーズ・シティ (ベリーズ)、ジョージタウン (ガイアナ)、カリ (コロンビア)、カイエンヌ (仏領ギアナ)、グアテマラ・シティ (グアテマラ)、ケサルテナンゴ (グアテマラ)、ポルトープランス (ハイチ)、テグシガルパ (ホンジュラス)、メリダ (メキシコ)、プエルトリコ全島、サンティアゴ・デ・ロス・カバレロス (ドミニカ共和国)、マラカイボ (ベネズエラ) これらの大都市に、教会員たちが働きかけていく方法が与えられるよう祈りましょう。

「あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないで お与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます」(ヤコブ 1 : 5)

- 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「初めからのことを思い出すな。昔のことを思いめぐらすな。見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き／砂漠に大河を流れさせる」(イザヤ 43 : 18—19)

- 祈りをきき、わたしたちの願いや思いをはるかに超えて働いてくださる神を賛美しましょう。

「わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン」(エフェソ 3 : 20—21)

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある 7 人のために、2～3 人のグループで祈りましょう。彼らが、心のうちに神の平安を求めることができるよう祈りましょう。彼らのために、I ペトロ 3 章 11 節を心に留めましょう。「悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを追い求めよ」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

讃美歌 「なしたまえみ旨を」 (希望の讃美歌 362 番)
「安かれ わがたましいよ」(希望の讃美歌 349 番)

「主のみ手に頼る日は」 (希望の讃美歌 325 番)

「暗き道に迷い」 (希望の讃美歌 273 番)

平安に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実…平和…です」(ガラテヤ 5 : 22)

「主は、彼のことばに従うすべての魂が、主からの喜び、平安、途切れることのない支えの力を受けることを確実にされました。そのような男女は、主のみ前にひざまずいて祈る時だけではなく、日々の働きに取り組んでいる時にも、いつでも主のそばへと引き寄せられるのです。主は彼らのために、日常のすべての不快や卑俗さから清められた、彼との交わりの場所を用意しておられます。この碎かれることのない主との交わりによって、彼らは生涯のわざにおいて、主との協力者とされるのです」(*My Life Today*, p. 51)

「心が休まらず、平安のない者がいます。彼らは常に不安定であり、外からの刺激や感情に心を支配されるままにしています。彼らは、キリストにある平安と休息を経験することの意味を知りません。彼らは、錨がなく、風に吹かれ、揺れ動かされる船のようです。しかし、聖霊によって思いが支配されている者は、謙遜と柔和をもって歩みます。彼らは、キリストと一致して働き、完全な平安のうちに守られるのです。一方で、聖霊に支配されていない者は、荒れた海のように」

(*Ye Shall Receive Power*, p. 73)

「良い真珠をさがしている者、さがし続けている者がいます。しかし、彼らは自らの悪習慣をすっかり捨て去ることをしません。キリストが内にお住まいになるよう、自己に死ぬということをしないのです。そのため、彼らは高価な真珠を見出すことができません。……彼らは、魂のうちにある平安と調和について理解しません。自らを完全にあげわたすことなしに、休息や喜びを得ることはできないのです。ほとんどクリスチャンのようではあるが、完全なクリスチャンではない彼らは、天の王国に近づいているように見えますが、その中に入ることはできません。完全にではないがほとんど救われているということは、ほとんどではなく完全に失われているということを意味するのです」(*In Heavenly Places*, p. 49)

「平安と喜びを得るための唯一の方法は、神との生きたつながりを持つことです。神は、自らの命をわたしたちに与え、わたしたちが生きるために死なれました。そして、罪にうち勝とうと努めている者の働きに、ご自身の力を結びつけるため、今も生きておられるのです」

(*In Heavenly Places*, p. 33)

「神をみことば通りに信じる者に与えられる平安とよろこびは、ことばに言いあらわせません。試練も彼を妨害することができず、侮りも彼を苦しめることができません。自己は十字架につけられます。義務は1日1日重くなり、誘惑は強くなり、試練は激しくなっても、彼は、必要なだけの力

を与えられるので、決してよろめきません」(『青年への使命』90—91 ページ)

「信仰のうちには平安が、聖霊のうちには喜びがあります。信じることは心に安らぎをもたらし、神に信頼することで喜びを得ることができます。信じなさい、ただ信じなさい。わたしの魂は言う、信じなさい。神のうちに安らぎなさい。神は、あなたが信頼をもってゆだねた事がらを、支えることのできるお方です。あなたは、愛してくださった方によって、勝ち得て余りある者となることができるのです」(*The Faith I Live By*, p. 121)

個人的な考察のための質問

1. あなたの心には平安がありますか。心の平安が失われるのは、どのような時ですか。しばしの祈りの時をもち、神のみ前にそれらのことを打ち明け、神の約束を自分のものとして信じましょう。
2. 神の言葉を、そのまま受け止めていますか。困難の最中であって、あなたは神の約束から平安を感じることができますか。試練の中で神からの平安が与えられるよう祈りましょう。